

2015年度

# JICA研修コースの実績紹介

「コンポスト事業運営B」コース



2016年3月26日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

# 1. 研修コースの紹介



1)コースリーダー / 城戸 浩三

2)研修コース 名

和文:コンポスト事業運営B

英文:Management of Composting Project (B)

3)研修受け入期間: 2014/10/26 ~2014/11/25

4)参加研修員: 10名 (6カ国)

参加国内訳

①コスタリカ(2名)

②ドミニカ共和国(2名)

③エクアドル(2名)

④エルサルバドル(2名)

⑤グアテマラ

⑥ホンジュラス

## 【参加研修員の国名と位置】



中南米6カ国から派遣された10名の研修員の皆さんが、北九州市(JICA九州)に集まり、「コンポスト事業運営B」に関する技術研修に参加しました。

## 2.コース設立の背景と目的

### 現状の整理



中南米地域

- ①中南米諸国の一般廃棄物の約60%は、有機ゴミとなっている。
- ②廃棄物管理としてコンポスト化(堆肥)が有効な手段と評価されている。
- ③コンポスト事業の課題として品質管理・市民参加型管理の促進。
- ④流通システムの確立が必須。

事業運営のための技術と  
ノウハウの移転

## 2. 研修目標

### 案件 目標

コミュニティのためにコンポスト事業が計画され、あるいはスタートしている中南米の国及び地方自治体の廃棄物管理機関が、日本での廃棄物管理行政やコンポスト概要・技術を習得し、またマーケティングや流通を理解することによって、それぞれの国に適したコンポスト事業改善のため計画が策定される。

### 自国での実施



### 日本での研修

#### (単元目標Ⅰ)

・日本における国・自治体の廃棄物管理について、政策・実施体制等の概要を説明できる。

#### (単元目標Ⅱ)

・コンポストの概要、技術内容、活用方法について説明できる。

#### (単元目標Ⅲ)

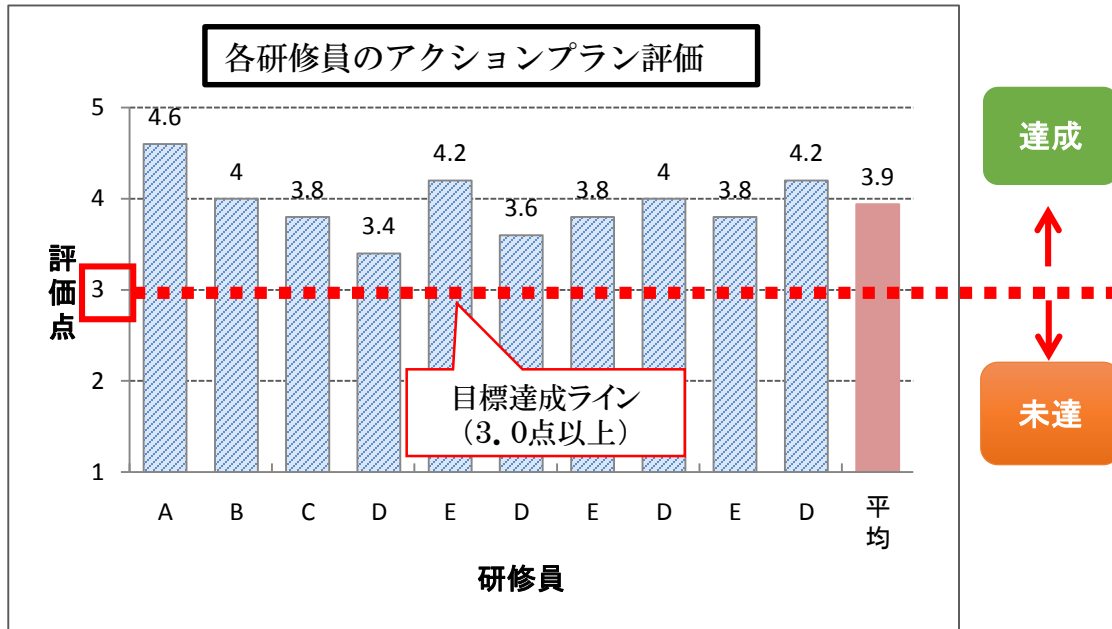
・コンポストのマーケティング方法、ビジネス化について説明できる。

#### (単元目標Ⅳ)

・コンポスト事業改善のための計画が策定できる。



## 4. 達成度(研修員の評価)



- ◆達成度の評価
- 1) テーマの妥当性
- 2) 自国の現状を踏まえた実現性
- 3) 研修成果の活用性



- ◆3つの観点からカリキュラム講師(評価者)より5点満点で評価。

- ◆平均評価が3点以上であれば達成とした。

上表の如く、9名とも平均点が3点以上の評価であり達成度をクリアした。各研修員の理解度は良く、帰国後の活躍が大いに期待される。



## 4. 研修に関する所見

### 1) デザイン(研修期間・カリキュラム構成)について

今回の研修は実質研修日数20日間として実施しました。コンポスト化は廃棄物管理全体からみれば限定されたテーマであり、期間は短かったが、コース期間やカリキュラム内容については適切な設定であったと思います。

### 2) 次年度に向けた改善点について

- ① G I のコンポストに関する記述内容の改善を図るためコンポスト化の取り組み状況とその課題の明確化の徹底と I A S 改訂版の利用。
- ② 選考会で合格した研修員には、事前にジョブレポート発表会資料の提出を義務付ける。
- ③ カリキュラムの改善
  - ・ 法律面の充実を図る。
  - ・ コンポストへの微生物の影響に関する講義時間の追加
  - ・ 畜産廃棄物のコンポスト化対応

### 3) 研修コースを終えて

更新1回目の「コンポスト事業運営B」コースは、滞りなく終了することができました。支えていただいた JICA オフィサーと素晴らしいコミュニケーションをしていただいたコーディネーターに厚くお礼申し上げます。

## 5. 研修員スピーチ

# 研修員の感動スピーチ (於：閉講式)



閉講式でスピーチされたレイナルドさん(ドミニカから参加)



# Mr. EDUARD CAPELLAN Reynaldo Albertの謝辞 (通称:レイナルドさん) ～研修員代表～

◆和訳全文をご紹介します。

JICA当局の皆さま、KITAの皆さま、ご来席の皆さま及び研修員の方々にご挨拶申し上げます。

感謝とは人間の1つの美德で、私たちが信仰している宗教では、それを育てるようにいつも求められます。

JICA, KITA, 自国の上層部や我々自身が望み、ここ、日本という素晴らしい国で行われたこの素晴らしい技術・政治・文化・社会の交流が成功裏に終了しようとしています。



上野副理事長より修了証書を授与された  
レイナルドアさん



全ての中南米諸国、特に私たちが代表する6か国（エクアドル、グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、コスタリカ、ドミニカ共和国）の名において、事務の方々、企画者の方々、講師の先生がた、運転手の方々、受付の方々、お掃除や食堂の方々が私たちに示してくれた心地よいお世話の仕方に対しまして、背筋を伸ばし、心をこめて感謝の意を表したいと思います。皆さまは素晴らしいホストでした。

皆さまと過ごした日々は一生の思い出となるでしょう。

初めに、本研修中常に同行してくださった人たち：通訳の裕子さん、私たちの学術面のガイドをしてくださった尊敬する城戸さん、私たちの責任者で気遣いを怠らなかつた長野さんに「大満足である」と申し上げたいと思います。





帰国しましたら、コンポストや循環型社会、また環境教育に関して学んだ知識を実践に移すことをお約束いたします。是非私共の国々をご訪問ください。そして私共の日本での学習の成果を見、私どもの国を楽しんでください。

JICAの皆さま、KITAの皆さま、ご来席の皆さまに、マジさん、ジェルリンさん、カルロスさん、イバンさん、オルランドさん、ヴィダルさん、ウラデイミールさん、ジョエルさん、レイナルドの名において、心よりお礼を申し上げます。ありがとう、ありがとう、ほんとうにありがとう。



# 6. 研修思い出アルバム

JICA九州で講義



研修先訪問



スライドショー

クリックして写真集をご覧ください

研修先訪問



研修先訪問

